

2018 年度事業計画（案）

2018 年度における CS 研活動は、2017 年度と同様『主体的な学びを育むキャンパスを共創する』を共通テーマとして掲げ、各分科会活動やトピックス企画、および 3 研究会 (CS 研、IS 研、SS 研) の連携活動などを実施する。特に、各分科会間の交流を視野にいたした合同企画など積極的に推進し、本研究会活動を通して蓄積された知識やノウハウを広く共有させるなど、CS 研全体の活性化を図りたい。

具体的には、以下の活動を展開する。

1) 分科会活動の推進

・分科会(合同研修会を含む)での討議、意見交換、実習、事例報告、勉強会、施設見学等

2) 知識やノウハウの蓄積と共有

・公開サイトのコンテンツや Facebook ページの充実
・トピックス企画の推進

1. 総会

目 的 : 2018 年度事業に関する計画・立案及び実施に関する承認、予算・決算の承認、
会員の入退会、役員任免、会則の改正などに関する審議・決定を行う。

開 催 日 : 6 月 11 日(月)

開 催 場 所 : 富士通本社事務所 24 階大会議室

出 席 者 : 会員校代表者及び賛助会員

スケジュール:

(1) 総会

(2) 特別講演(予定)

[氏 名] 齋藤 和紀(さいとう かずのり) 氏

[肩 書] エクスポネンシャル・ジャパン共同代表、Ex0. works コンサルタント
Spectee 社 CFO、iROBOTICS 社 CFO、等。

[略 歴] 日系、外資系メーカーの財務経理や経営企画部門勤務を経て、2008 年に金融庁国際
会計調整室に勤務。財務経理のスペシャリストとして資金調達やファンドの立ち上げ
など、成長期にあるベンチャーへの支援を行ってきた。

(3) 懇親会

(4) 顕賞 ユニーク企画賞、功労賞(予定)

2. 分科会

以下の 6 分科会に分かれて活動を行う。

尚、2018 年度より分科会名称変更を実施し、より活動のわかり易さを訴求していく。

- | | |
|------------------|----------------------|
| ① 教育システム分科会 | (旧第一分科会 /教育・研究) |
| ② 事務システム分科会 | (旧第二分科会 /事務利用) |
| ③ システム運用管理分科会 | (旧第三分科会 /システム運用管理) |
| ④ 図書館分科会 | (旧第四分科会 /図書・学術情報) |
| ⑤ 大学経営・情報化戦略分科会 | (旧第五分科会 /大学経営と情報化戦略) |
| ⑥ 次世代情報システム検討分科会 | (旧第六分科会 /教育モデルと情報基盤) |

分科会活動では、討議、意見交換、実習、事例報告、勉強会、施設見学、製品等の情報収集を行い、参加者相互の啓発と情報交換、最新技術や動向等への見識を広める。

日程等活動内容については、「2018 年度分科会活動計画案」を参照。

3. 分科会合同研修会

目 的 : 分科会合同で1泊2日の研修を行う。メンバー各自の知識や技能の向上を図ると共に、分科会のメンバーが参加する機会を持つことで、日頃の研究活動の相互理解を深め、メンバー間のヒューマンネットワークを拡げる。

開 催 日 : 8月30日(木)~8月31日(金) (1泊2日)

開 催 場 所 : 信州松代ロイヤルホテル(長野県)

内 容 : 講演、意見交換、分科会活動(討議、事例報告、実習)、製品紹介やデモ、懇親会等

4. トピックス企画

会員皆様の多様なニーズ、要望を吸い上げて適宜イベントを開催している。今年度は以下に記載の4種のトピックス企画の中から会員ニーズ、通常の分科会活動の状況を考慮しながらいくつか実施予定。

1) 技術講習会

目 的 : 大学の実用的な業務を例題として取り上げ、技術やノウハウの習得を図るとともに、より実践的な活用方法を習得する。
尚、開催時期、開催場所や内容等については調整中。

2) 最新技術セミナー

目 的 : 最新技術の紹介、最新技術に取り組んでいる企業・団体等の施設/設備の紹介及び見学により見識を広める。尚、開催時期、開催場所や内容については調整中。

3) ICT 勉強会(新規)

目 的 : 事務局企画で最新のICTの技術動向や事例などを紹介し、自大学におけるICTの活用をイメージしたり課題解決に向けた考察などを行う。新人や初任の方を対象に企画していく。尚、開催時期、開催場所や内容については調整中。

4) キャンパス見学会(新規)

目 的 : 各分科会単位で企画していたキャンパス見学について、事前に会員のニーズを可視化、集約化することで合同開催を効率的に実施することを目的とする。
実施については年1回程度(不定期開催)とし各分科会活動の状況を把握したうえで実施判断を行う。

5. 特別企画(他活動)

1) CampusmateWG 勉強会

目 的 :
・CS研活動に対する参加者の拡大、研究会のさらなる活性化を目的に実施する。
・「Campusmate-J」パッケージのシステム運用のノウハウや活用事例などを共有したり、共通課題の解決に向けた討議を通じ、大学間の交流を図る。
日程等活動内容については、「CampusmateWG 活動計画案」を参照。

2) 第10回情報戦略フォーラム

目 的 : 3研究会(CS研、IS研、SS研)が連携し、ICTを活用していかに大学を
改革していけるか等見識を深め、参加大学へのフィードバックを目指す。
テ ー マ : (仮題)日本の大学を元気にする ～グローバルから見た日本の大学の強み～
開 催 日 : 8月1日(水)
開 催 場 所 : 富士通本社事務所 24階大会議室

※ 当フォーラムは、サイエンティフィック・システム研究会(SS研)及び
国公立大学情報システム研究会(IS研)と連携し実施するものである。

3) 賛助会員情報交換会

目 的 : 正会員と賛助会員の情報交換を図り、研究会のさらなる活性化を目指す。
開 催 日 : 2019年2月下旬 役員会同時開催予定
開 催 場 所 : 富士通本社事務所 24階大会議室

以 上

教育システム分科会（旧第一分科会）活動計画案

◆活動方針

社会が急速に進展し、多様なニーズが求められる現在、大学教育においても学生がその主体性を認識して行動し、国境を越えて様々な人々と新たな知・価値を創り出し、既存の枠を越え活躍ができる人材の育成が期待されています。このように新しい組み合わせを作り出し、これまでにない価値を生み出す取り組みは「共創」とも表現され、この「共創」がICTにより、これからさらに大きな進化を遂げるとも言われています。

そこで教育システム分科会では「共創」を活動テーマとし、大学教育における共創に関する取り組みを実践している大学や企業を訪問し、教員、職員、学生、企業による実践的な共創活動を学び、会員の皆様と共に大いに議論できたらと考えています。

◆活動テーマ 「共創をICTする」

教育システム分科会では以下の項目について、「共創」をテーマの中心に置き分科会を実施いたします。

- ・共創を実現するためのIoTプラットフォーム
- ・産学が一体となった共創
- ・入試改革
- ・教員と職員による共創体制の確立
- ・共創の場づくり
- ・高大接続共創の可能性

◆活動概要

合同研修会を含め、年間5回の分科会を開催いたします。また参加者の皆様のヒューマンネットワークの構築がスムーズに進むようアイスブレイクやワールド・カフェ形式の意見交換、そして実際の教育の現場をみただけの授業見学などを積極的に取り入れた分科会を開催できたらと考えています。

<各回で内容は異なりますが、およそ以下の項目で構成>

- ・講演、授業見学、意見交換会、ワークショップ、アイスブレイク、参加体験型学習
- ・最新ソリューション紹介、見学会、情報交換会
- ・メーリングリストやtwitter、Facebookを活用した積極的な情報交換

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	5月25日（金）	開催候補：調整中 テーマ：共創を実現するためのIoTプラットフォーム ・事例紹介 「教育における支援ツールの利活用事例」 ・意見交換会
2	7月12日（水）	開催候補：青山学院大学 青山キャンパス テーマ：産学が一体となった共創 ・午前の部 授業見学（企業が提示する課題を学生がチーム単位で解決に取り組む授業を見学） ・午後の部 講演「『Future Skills Project』の取り組み」 ・意見交換会 ・施設見学
3	8月30日（木） ～8月31日（金）	開催候補：信州松代ロイヤルホテル テーマ：LMS勉強会 ・LMSの特徴紹介（各大学利用しているLMSについて発表し、その特徴を理解する） ・総括
4	10月18日（木） ～10月19日（金） 予定	開催候補：調整中 テーマ：教育，職員，学生の共創 ・事例紹介 ・意見交換会
5	12月14日（金）	開催候補：調整中 テーマ：新しい学びの場（高校におけるICT活用，高大接続共創） ・事例紹介「多様な背景を持った入学者に対し、日々の授業、指導法の工夫等による学習成果事例」 ・意見交換会（高大接続共創の可能性など）

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。

事務システム分科会（旧第二分科会）活動計画案

◆活動方針

事務システム分科会の特徴は、活発な情報交換により他大学の業務内容やシステム運用などに触れ、自大学と比較し、自大学の強みと弱点を把握できるという点です。最新の業務システムから不変的な業務内容に至るまで、各大学の取り組みを学びながら、現場に“役立つ”取り組みを今年度も展開して参ります。

今年度の活動は、2018年問題と言われている18歳人口の減少の問題に着目し、業務やシステム・高大接続改革など幅広く取り上げます。大学を取り巻く環境が大きく変革され、多様化する学生や保護者にどのようなサービスが出来るのか？また求められるのか？などを考え、実践できるシステムの運用方法を検証します。また、文部科学省より提言された高大接続改革について、入試選抜方法の改革はもちろんのこと教学システムの改革も行わなければいけません。高校での教育から大学教育へのスムーズな移行をどのようにするのか？入試・教育・質保証と3ポリシーをどのように運用していくべきなのか、会員相互で意見交換および情報交換して参ります。

さらに、スキルアップ研修として自身の思考（行動）特性をMBTI診断により把握することで、職場での業務手法等の改善に役立つもらえる知識の習得を目指します。

◆活動テーマ 「2018年問題に対して我々（大学、事務システム分科会）は何をすべきか」

◇働き方改革

業務処理の多さから働き方改革について考え、各大学の業務からムダ・ムリを討議し自大学の業務改善に繋がられるよう、活発な意見交換を目指す。

◇教学IR

昨年行った“IRとは何か”を継承し、教学IRについて各大学での比較・検討を行う。

◇保護者サービス

各大学における保護者サービスについて情報共有し、また『保護者が大学に求めること』の意見交換し何が必要かを検討する。

◇高大接続改革

高大接続改革という大学としての大きな変革を求められる中、各大学における入試改革や教学改革について、活発な意見交換を目指す。

◇スキルアップ研修

◆活動概要

以下の内容を基本として活動する。

◇全体会：CS研及び分科会全体に関わる共通の情報を提供

◇討議：活動テーマに沿った討議、グループ討議、ワールド・カフェ、研究活動

◇事例紹介：CS研会員校や分科会会場校、企業等の取り組みやシステム導入事例等の紹介

◇施設見学：分科会会場のキャンパス及び施設を見学

◇ソリューション紹介：最新技術やソリューションの紹介、デモやSEレクチャー等

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	5月29日（火）	開催候補：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京 テーマ：働き方改革 ・全体会：2018年度の活動概要について、事務連絡等 ・討議「ムダ・ムリ “夢を語る前に現実で困っていることを解決しよう”」
2	6月28日（木） ～6月29日（金）	開催候補：関西方面 （2日目 富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター大阪） テーマ：教学IR 1日目：調整中 2日目：・全体会 ・事例紹介：「教学IRについて」 ・討議 ・施設見学
3	8月30日（木） ～8月31日（金）	開催候補：信州松代ロイヤルホテル テーマ：スキルアップ研修 ・全体会 ・スキルアップ研修 MBTI診断を用いた、思考（行動）特性タイプを知る。
4	10月26日（金） or10月23日（火）	開催候補：東海大学 湘南キャンパス テーマ：保護者向けサービス ・全体会 ・事例紹介： ・討議：保護者が大学に求めることとは？ 各大学が保護者サービスとして実施していることは？ ・施設見学
5	12月4日（火）	開催候補：東洋大学 白山キャンパス テーマ：高大接続改革を考える ・全体会 ・講演：「入試改革について」 ・2018年度活動のまとめ

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。

システム運用管理分科会(旧第三分科会)活動計画案

◆活動方針

システム運用管理分科会では、最新の情報技術の紹介や導入事例発表、実習を通して、パソコン、サーバー、ネットワーク、サービス、設備、施設等、教育機関を支えるICTの運用管理、大学が抱えるシステムの検討課題について解決や改善支援をおこないます。

大学、企業への訪問、設備、施設の見学、事例発表、ソリューション紹介、情報交換会、夏の合同研修会など、活発な討議、意見交換を通じて、情報システムや情報サービス担当者ならびにICTインフラ設備担当者が直面している諸問題の解決に役立つような企画、運営を行っていきます。

今年度も教育設備、施設の見学を交え、今年度は年間4回の開催を予定しておりますので、システム担当者の皆様のほか、インフラ設備担当者の皆様、賛助会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

◆活動テーマ 「個性的な学びを育むキャンパスを目指して ～ 学びを育むためのICT環境を探る! ～」

「最新技術」をキーワードに、システムの導入・管理運用、設備/施設の見学、事例紹介を交えた意見交換をおこない、製品、ソリューション紹介を交えて、課題解決に向けた情報を提供していきます。

- ・最新技術動向（サーバー、パソコン、ネットワーク、サービスの管理と仮想システム、クラウド等のICTインフラ技術動向）
- ・施設/設備（PC教室、図書館、アクティブラーニング/ラーニングコモンズ環境、無線LAN、ICカード、プリンタ環境等）
- ・サービス（インターネット、ポータル、メール、e-Learning、SNS、学生カルテ、ポートフォリオ、授業評価等）
- ・情報交換会（共通課題の洗い出し、解決に向けた意見交換）

◆活動概要

- ・教育研究機関/企業訪問（施設見学）
- ・事例発表
- ・情報交換（意見交換）
- ・スキルアップ実践実習
- ・メーリングリストの活用による積極的な情報交換

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	6月19日(火)または 6月27日(水)	<p>開催候補：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京</p> <p>テーマ：「システム運用管理ワークショップ I」</p> <p>第1部 「働き方改革ワークショップ ～ムダ・イヤな仕事を考える～」 働き方改革に向けて、システム運用管理業務に携わる方が抱える問題点やあるべき姿の共有を図ります。 ※秋に開催予定の第五分科会主催合同ワークショップとの連動企画です。</p> <p>第2部 「グループディスカッション ～ICT活用事例と大学での応用～」 通常のインフラ/サービス/設備の他、RPA、Bots、AI技術等、事例を元に将来的な応用を検討します。</p>
2	8月30日(木) ～8月31日(金)	<p>開催候補：信州松代ロイヤルホテル</p> <p>テーマ：「システム運用管理ワークショップII」</p> <p>第1部「グループディスカッション ～システム運用管理業務の優先課題と対策～」</p> <p>第2部「ICT活用支援ワークショップ ～ICTベンチャー・リーダーからの提案～」 正会員・賛助会員を交えて、大学・学生・受験生・保護者等、各立場からシステム運用管理部門への要望事項および要望に対するICTベンチャー・リーダーからの提案を検討します。</p>
3	10月中旬	<p>開催候補：調整中</p> <p>テーマ：大学（教育・研究機関、企業）訪問</p> <p>先進的な大学を訪問し、最新技術や取組、ソリューションの紹介を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み事例紹介 ・ソリューション紹介 ・施設見学 ・意見交換会（共通課題の解決に向けた討議）
4	12月上旬	<p>開催候補：調整中</p> <p>テーマ：大学（教育・研究機関、企業）訪問</p> <p>先進的な大学を訪問し、最新技術や取組、ソリューションの紹介を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み事例紹介 ・ソリューション紹介 ・施設見学 ・意見交換会（共通課題の解決に向けた討議）

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。
(別途、施設見学のための開催等も検討しております)

図書館分科会(旧第四分科会)活動計画案

◆活動方針

大学図書館では、急速に多様化する学術情報の利用形態、提供方法に対して、情報資源をより効果的、効率的に利用者に提供することが求められてきています。そのためには、図書館職員においても、ICT技術の発展に対応した知識、情報スキルを取得することが不可欠となってきています。

図書館分科会では、このようにめまぐるしく進化を遂げる情報社会や、利用者のニーズの変化に柔軟に対応できるように、大学図書館とメーカーが協力し合い、図書館と図書館システムにかかわる諸問題の解決、新たな利用者サービスの実現を目指して研修を行っています。

毎年5回開催(予定)の分科会では、事例紹介、最新技術動向紹介などの情報提供に加え、スキルアップに向けた学習の場、情報交換会を計画しています。新しい学術情報システムについて、会員、賛助会員のみならず、ともに学んでいきたいと思っておりますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

◆活動テーマ ステップアップ・ライブラリアン ― 自分を磨く ―

近年、図書館では、資料提供のための収書業務や、カウンター、レファレンス、相互協力等の閲覧業務以外にも幅広いサービスの提供が求められています。そのなかで電子ジャーナル、データベース等のICTを活用するサービスは、情報技術の発達とともに大きな比率を占め、図書館スタッフはこれまでの司書的な専門知識にくわえて、ICT知識や情報活用スキルが必須となってきています。しかしながら、年々発達する情報技術を取得することは容易ではなく、日々の自学自習や、ある程度の実務経験を積むことが必要です。その反面、年々、業務委託や外注スタッフによる図書館の管理運営が増えたため、実務経験がある専任スタッフが減少し、新任スタッフへの教育時間も取りにくい状態で、専門的な知識やこれまで培った業務に関する知識の伝達が困難になってきました。

今年度の図書館分科会では、図書館業務を始めたばかりのスタッフや、これから実務の中心となる若手スタッフ向けに短期間で図書館業務の基礎知識を得ることができるプログラムと、業務の効率化や業務改善等のマネジメント業務を担う方々には第5分科会と共同開催する「働き方改革」を考えるワークショップと、二つの通年企画を中心にした活動を計画しています。

◆活動概要

次のような活動を年間5回の分科会として開催を予定しています。

1. 図書館施設見学
2. 講義・討論
3. 事例紹介
4. グループ討議・意見交換
5. 製品紹介、図書館パッケージ「iLiswave-J」事例紹介・新機能紹介
6. 言いたい放題

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	5月28日(月)または 6月1日(金)	開催候補：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京 テーマ：「働き方改革ワークショップ ～ムダ・イヤな仕事を考える～」 働き方改革に向けて、図書館業務に携わる方が抱える問題点やあるべき姿の共有を図ります。 ※秋に開催予定の第五分科会主催合同ワークショップとの連動企画です。
2	7月	開催候補：調整中(関東地区) テーマ：ステップアップ・ライブラリアン Part-1 【1日で学ぶ図書館業務基礎知識(前半)】 1) これだけ知っていれば、とりあえず初級図書館スタッフ！ 半日集中基礎講座(前半) 図書館スタッフのための基礎講座プログラムを予定しています。 あなたの図書館は当てはまりませんか？ ・他部署から異動したばかりで、専門的な知識がない、得られない。 ・教えられたまま、言われるままに仕事している。 ・専門用語がわからない。著作権ってなに？ リポジトリってなに？ ・外注や業務委託が増えて、職員が持つノウハウや知識が引き継がれない 2) 「CAT2020予報」、意見交換会 3) 事例紹介、施設見学、意見交換会
3	8月30日(木) ～8月31日(金)	開催候補：信州松代ロイヤルホテル テーマ：スキルアップ研修 図書館員として必要なスキルやICTについての基礎知識習得など、実務に関わるスキルアップに繋がる内容で実施します。
4	12月	開催候補：調整中 テーマ：ステップアップ・ライブラリアン Part-2 【1日で学ぶ図書館業務基礎知識(後半)】 1) これだけ知っていれば、とりあえず初級図書館スタッフ！ 半日集中基礎講座(後半編) 図書館スタッフのための基礎講座プログラムを予定しています。 あなたの図書館は当てはまりませんか？ ・他部署から異動したばかりで、専門的な知識がない、得られない。 ・教えられたまま、言われるままに仕事している。 ・専門用語がわからない。著作権、剽窃ってなに？ リポジトリってなに？ ・外注や業務委託が増えて、職員が持つノウハウや知識が引き継がれない 2) 「CAT2020予報」、最新技術紹介 3) 事例紹介、施設見学、意見交換会

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。

大学経営・情報化戦略分科会（旧第五分科会）活動計画案

◆活動方針

「働き方改革」2017年度は日本中に、この言葉が駆け回りました。その中で、成功事例、失敗事例も多々紹介されてきました。

第5分科会では、昨年度、「大学事務の構造改革」⇔「ワークスタイル変革」をテーマに、第1回は、「ありたい姿」へ向けたプラス思考での討議を行い、第2回では、「イヤ・ムダアンケート」で抽出した現状の不満抽出を元にした討議を実施しました。

結果、強く残ったのは「教職員が幸せでないと学生を幸せにはできない」という思いです。「既存業務+改革・生き残りのための業務」で一杯では、あるべき姿に向けた仕事に手につきません。また、「やらされ感」の強い仕事の連続は、改革に向けたモチベーションを削いでしまいます。

「停滞」は何も生み出しません。「何から始めるか」が重要です！

2018年度の第五分科会は、前年度テーマである「大学事務の構造改革」⇔「ワークスタイル変革」を引き継ぎつつ、変革に向けた第一歩の踏み出し方を他業種事例、製品動向紹介も交え、検討していきます。また、管理職・リーダー・メンバーといった立ち位置の異なる構成による本音ベースでの議論の場も設定したいと考えておりますので、積極的なご参加をお待ち申し上げます。

◆活動テーマ 「大学事務の構造改革」⇔「ワークスタイル変革」～最初の一步を踏み出すために

【研修テーマ】

- ・「イヤな仕事」・「ムダな仕事」を止めるためには？（「管理職のジレンマ」から脱却できますか？）
- ・メンバーの本音を探りモチベーションを引き出す（管理職とメンバーの価値共有）
- ・ICTは、働き方改革の救世主となりえるか？（ICT活用事例からロボティクス・AI活用の可能性まで）
- ・これからの大学職員の本来業務とは？（本来業務以外の業務は誰がやるのか）

◆活動概要

第五分科会は年間2回の開催とし、遠地での参加が難しい会員に配慮し、2回共に東京地区での開催とする。それぞれの回で、テーマに即した講演者による事例紹介と、会員相互の情報交換及びディスカッションに重点を置き、理解の深化を進めるとともに会員相互の人的交流を深める。

なお、2018年度は、多階層討議の可能性を模索し、可能な状況となれば、臨時開催を検討する。

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
★	CS研パブリック活動 日程：5月～6月	開催候補：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京 ・他分科会「働き方改革ワークショップ」企画へのサポート（候補：第二・第三・第四分科会） ・別途 第五分科会主催の合同分科会(多階層討議) への参加を視野に入れた企画支援と位置付ける
1	2018/7/ 仮	開催候補：FUJITSU Digital Transformation Center (JR浜松町駅と直結) テーマ：ICTは、働き方改革の救世主となりえるか？ ICT技術の活用は、「働き方改革」の前提となる業務効率化の手段として必ず取り上げられますが、検討レベルに留まり、実際の導入には至らない大学も多いようです。 この原因としては、「(慣れたやり方)を変える」ことへの拒否感、成果指標策定とその測定の難しさ等が考えられますが、その壁を乗り越え、成功事例を積み上げることが、全学のベクトルを「改革」に向かわせる要件となります。 ここでは、導入実績も多い「ペーパーレス化による事務省力化」事例と最近注目されているRPA (Robotics Process Automation) の他業種事例の紹介を行い、大学事務におけるICT技術の応用可能性と進め方について共創する予定です。
2	2018/11/ 仮	開催候補：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター 東京 テーマ：「管理職のジレンマ」から脱却し、展望を描く。 「働き方改革」のダークサイドとして、「管理職のジレンマ」という言葉が多用されています。すなわち、「管理職が、目標達成と多様化した部下のマネジメントを含む職場運営の板ばさみとなり、『改革成果』のしわ寄せも管理職に行く。」状況です。 活動方針で挙げた通り、学生を幸せにするためには、メンバーだけではなく、管理職も幸せにならなければいけません。 第2回では、この2年間の総括として、今後10年～20年を見据えた「大学職員の本来業務」を想定し、そこに至るまでに変革が必要な項目の抽出、ICT活用を含めた対応方法の検討を実施し、中期スパンでの活動イメージを共創する予定です。
臨時開催	2018年秋	開催候補：調整中（東京都内） テーマ：メンバーの本音を探りモチベーションを引出す（管理職とメンバーの価値共有） 2017年度に実施した「イヤ・ムダアンケート」の結果を見ると、管理職・リーダー・メンバーの各階層で共通のもの以外に、「イヤ・ムダ」と感じる仕事に差異があるものがありました。これは、管理職とメンバーが違う視点・価値観で業務に就いていることを意味します。この「差」を共有し、対応を行うことが、業務満足度・モチベーション向上に繋がります。 第5分科会主催で、他の分科会に声かけを行い、様々な立場から本音の意見交換を行います。 なお、実施については、他分科会との調整の上判断し、実施可能となった時点で改めてご案内させていただきます。

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。

次世代情報システム検討分科会（旧第六分科会）活動計画案

◆活動方針

ICT分野の急速な進展は目覚しく、スマートデバイス、クラウドサービス、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、の活用が進行し、社会のあらゆる分野において重要度が増してきています。特に、産業界では、乗用車の自動運転に代表されるように様々な技術の実用化に向けた取り組みが急速に進んでいます。人工知能やロボットなどの機械が産業構造を大きく変えると言われる「第四次産業革命」の進展で、私たちは、これまでの社会とは質的に異なる社会で生活し仕事をしていくことになります。

このような将来の変化を予測することが困難な時代にあって、大学は「生涯学び続け、どんな環境においても“答えのない問題”に最善解を導くことができる能力」を持った学生を育成することが求められています。

これらの背景を踏まえ、本分科会は今年度より分科会名称を「次世代情報システム検討分科会」と改め、これまでのテーマ「教育モデルと情報基盤」を次世代を見据えたものに進展させたいと考えています。今年度は未来を思い描きながら今できることは何か、それらを未来に繋ぐことができるのかといったことを検討する分科会とします。

◆活動テーマ 「2030年のキャンパスシステムを創造する」

社会生活、大学教育においてICTはますます欠かすことのできないものとなっており、最近では働き方改革、AI、IoT、といったキーワードが飛び交う中で業務の効率化や自動化が求められています。また、ICTを活用した教育環境も目まぐるしく変化しており、大学におけるICT教育環境も変化する必要があります。併せて、ICTの知識を身に付けた児童、生徒を受け入れる大学として、未来の大学インフラを検討する必要もあります。

「2030年のキャンパスシステムを創造する」を活動テーマに、未来のキャンパスシステムについて、大きく「教育」「事務」「インフラ」に分けて検討していきます。

◆活動概要

次に示すサブテーマで年間3回の分科会を開催します。また、分科会に加えて、2回のWGを開催し、テーマに沿った成果物を作成します。

- RPAで大学事務業務は軽減できるのか？
- 小中高におけるICT教育により大学の教育環境をどう変えるのか？
- AIでセキュリティ対策・システム運用は自動化できるのか？

それぞれのテーマについて、事例研究（他大学や他業種の導入事例の紹介）、討議（次世代のキャンパスシステムを思い描いて）、キャンパス訪問（施設見学）の中から幾つかの内容を盛り込むことを予定しています。

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	5月30日 (水)	<p>開催候補：調整中（関西地区の教育機関または企業） テーマ：RPAで大学事務業務は軽減できるのか？ ～AI、ロボット活用で残業ゼロ！？～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演や事例紹介：開催テーマに沿った講演や事例紹介を予定しています。 ・ワークショップ：ワールド・カフェ 上記講演を受けての実施を予定しています。 ・施設紹介と見学： ・ソリューション紹介
2	7月4日 (水)	<p>開催候補：調整中（関西地区の教育機関または企業） テーマ：小中高におけるICT教育により大学の教育環境をどう変えるのか？ ～学びのイノベーションに大学はついていけるのか！？～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演や事例紹介：開催テーマに沿った講演や事例紹介を予定しています。 ・ワークショップ：ワールド・カフェ 上記講演を受けての実施を予定しています。 ・施設紹介と見学： ・ソリューション紹介
3	12月19日 (水)	<p>開催候補：調整中（関西地区の教育機関または企業） テーマ：AIでセキュリティ対策・システム運用は自動化できるのか？ ～AIに任せれば専門家はもう要らない！？～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演や事例紹介：開催テーマに沿った講演や事例紹介を予定しています。 ・ワークショップ：ワールド・カフェ 上記講演を受けての実施を予定しています。 ・施設紹介と見学： ・ソリューション紹介

◆WG活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等
1	2018/9月頃	開催日、開催場所、開催内容は調整中
2	2018/11月頃	開催日、開催場所、開催内容は調整中

※上記の記載内容は変更となる場合がございます。

CampusmateWG(勉強会)活動計画案

◆活動方針

CampusmateWG(勉強会)はCS研活動(特別企画)の一つであるテーマ別WGとして、2016年度より活動を開始しております。2017年度は「ポータル」「履修/成績管理」等、各回毎にCampusmate-Jを利用した業務のテーマを設け実施しました。また、現場職員様を対象としたCampusmate-J操作説明会を企画し、未使用機能や新機能の気づきの場、ニーズの吸い上げの場としてある一定の評価を得ました。当該勉強会は通常の分科会活動とは異なり、普段分科会にあまり参加されていない会員や会員登録を検討している非会員の方々の参加も促進する目的もあります。2018年度においても、Campusmate-Jをご利用及び導入を検討している方々にお集まり頂き、課題や疑問を参加者間で共有しながら、システム面と運用面の双方の解決に導けるような活動の場にしたいと考えております。

◆活動テーマ 「Campusmate-Jを活用した事務システム全体の効率化」

大学事務パッケージ「Campusmate-J」単体の知識/機能修得や課題共有のみならず、システム業務全般に係る生産性の向上やEUC改善等を狙い、Campusmate-J周辺システムとの連携業務も視野に企画をしていきます。2018年度は「入試」「保護者向情報公開」等今までに取り上げられていないテーマにフォーカスし、参加者間で利用事例や課題解決に向けた工夫などを情報共有(意見交換)するプログラムも織り交ぜながら実施検討していきます。

◆活動概要

●2018年度の活動概要(各回のテーマ)は以下のとおり。

2018年度の企画特色は企画テーマのマンネリ感の払拭。新規テーマにて集客を狙いたい。また、例年のCAM-J操作説明会については研修テーマと参加対象者を明確にすることが課題であり、今年度の企画は再検討とする。

- ・ 第一回(6月)
 - ①テーマ:「入試業務システム」
 - ②開催場所候補:検討中
 - ③実施概要:インターネット出願システムpost@net導入ユーザの事例紹介他
web出願~合格発表、オープンキャンパス含めた種々のデータ運用の考察

- 第二回(別途)
 - ①テーマ:「システム業務の効率化とEUC」
 - ②開催場所候補:検討中
 - ③実施概要:会員向事前アンケートにて課題抽出。EUCに係る大学職員の課題整理。

- 第三回(別途)
 - ①テーマ:「保護者向情報公開」「CAM-J/スマートフォンの活用」「大学ポータル」
 - ②開催場所候補:検討中(汐留)
 - ③実施概要:保護者からの種々多様な問い合わせへの対応課題と対策
CAM-J勉強会でのニーズの高かったスマホ連携
インターン生や新人の感性を参考にしたポータル構築